

第26回令和4年度(2022年度)くまもとアートポリス推進賞募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを集結し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その一環として、「くまもとアートポリス推進賞」では、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年(1995年)から県内各地の優れた建造物等を表彰しています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの | ⑤ 地域づくりに寄与しているもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの | ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの |
| ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの | ⑦ 良好な施工が行われているもの |
| ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの | ⑧ 維持・管理が良好なもの |

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者を知事が表彰します。

応募資格

自薦、他薦を問わずどなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

青木 淳(東京藝術大学教授、AS共同主宰)
伊東 龍一(熊本大学大学院先端科学研究部教授)※委員長
乾 久美子(横浜国立大学大学院Y-GSA教授、乾久美子建築設計事務所主宰)
坂口 美由紀(Comodo arts project代表)
中川 エリカ(中川エリカ建築設計事務所主宰)
藤本 英行(熊本日日新聞社編集委員兼論説委員)

選考経過

募集	令和4年(2022年) 7月 1日(金)～8月31日(水)	応募38件
書類選考	9月20日(火)	
現地審査	10月19日(水)・20日(木)	
最終選考	10月20日(木)	推進賞8件、推進賞選賞2件
表彰式	令和5年(2023年) 1月31日(火)	

熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820

くまもとアートポリス

発行者:熊本県
所属:建築課
発行年度:令和4年度(2022年度)



第26回 くまもとアートポリス 推進賞



■第26回「くまもとアートポリス推進賞」の選考を終えて

選考委員長 伊東 龍一

1995年に始まった「くまもとアートポリス推進賞」は、今回で26回を迎えました。

第1回の推進賞の議論では、公共建築に対する民間の工事の建築レベルの向上が課題であったことや、地域の美化、活性化、地域社会のアメニティへの貢献が評価されるべきとの意見がでたことを、初代選考委員長・堀内清治氏がパンフレットに記されています。

今年度の応募総数は、38点で、ほぼ例年通りでしたが、民間の建築の応募は増え、地域活性化への貢献についても、審査過程での議論を聞いていても当然のように評価軸に入っているように思いました。時代差だといってしまう、そうかもしれませんが、これまでのアートポリス推進賞の貢献が、そういう状況をもたらしたともいえるのではないのでしょうか。

今年の審査は、昨年の審査員7名の体制から6名の体制になりました。昨年度もお務めの青木淳氏、藤本英行氏がおいでになり、新メンバーとして乾久美子氏、坂口美由紀氏、中川エリカ氏、伊東が入りました。

一次審査は、書類審査です。各審査員が事前審査を行い、得点を付け、評価の高かったものを選出しました。ただ、単に得点上位の作品を選んだのではなく、議論を交わしながら慎重に検討をして選んでいます。作品が選ばれた後にも、どこが評価できるか、書類だけではわからない、ヒヤリングで確認すべき点はどういったことか、実際に見たいのは建物のどこか、といったことを抽出し、互いに確認して、現地審査に臨むこととしました。

二次審査では、作品の建つ現地に赴き、建物を実見するとともに、担当者から説明を受けて、質疑応答を行いました。現地審査の終了後、県庁に戻り最終審査に入りました。

各審査員から1作品ごとに自身のその作品に対する評価を披露してもらい、その上で、最初に賞の対象とするもの、対象外とするものに分類し、対象とする作品のうちから「推進賞」と、これに次ぐ「選賞」を選んでいます。結果的に、推進賞が8作品、選賞が2作品となりました。すなわち、推進賞は①村川造園自宅、②N-HOUSE、③神水公衆浴場、④床と大地の余地、⑤ケアポート益城、⑥上乃裏通りのビルディング+、⑦線景の家、⑧南関町庁舎、選賞が①岱明の家、②かえでの森こども園です。個々の作品についての講評は、審査員による講評が後述されていますので、そちらをご覧ください。

推進賞の作品は、書類審査の段階から評価が高いものが多かったのですが、建物を実際に見た結果、さらに高い評価を得たものが少なくありませんでした。実に幸せなことです。

また、熊本地震発災から6年が経過しましたが、「神水公衆浴場」や「ケアポート益城」では被災からの復旧が作品を生み出す契機となっていました。「村川造園自宅」の構造の考え方にも地震が大きく影響を与えています。一方、もう地震とは直接的な関係が見受けられないように感じられる作品もありました。状況がだいぶ変わってきていて、今回の審査では、そういったなかからも素晴らしい建築が誕生していたことを知ることになりました。どのようなときでも、そのときどきで優れた建築作品を生み出すことに関わられた方々のエネルギーは尊いものです。

受賞されたみなさまにはお祝い申し上げます。また、惜しくも受賞されなかった方々も含めて、優れた建築作品を生み出すために尽力されたすべての皆様に敬意を表します。



伝統工法を活用した、木造の住宅である。設計者は、施主の要望に応えながらひとつずつ家を建てていくことにとどまらず、伝統工法の継承や山の木を木材へ加工してそのまま使うこと、木加工の過程で出る大鋸屑をゴミにせずに建材として活用することにも積極的に取り組んでおり、この建築はその取り組みの一貫である。

工法として、特に特徴的なのは基礎だ。家の中にしろ、土の中にしろ、いつもは隠れて見えなくなってしまう床下を、目で見て点検ができ、風が通る場所になっている。このことがシロアリ対策につなが

り、材料の劣化の早期発見につながるのだという。また、木造部分はRCの基礎にのせるだけという組み立てで、ズレどめの配筋をさすだけ。ただ、その配筋の太さは過去の地震の経験からミリ単位の試行錯誤の末にたどり着いた、絶妙な太さとなっている。

木を入手する際は、施主と共に山に入り、必要な材料を必要なだけ入手する。規格化されていない材料をそのまま躯体材料として使うにあたり、県の方でも伝統工法の継承のために、伝統工法専用の構造計算のシステムを独自に構築し、応えている。

現しの構造、仕上げ材など、目に見える部分はもちろんのこと、直接目には触れない断熱材にも、建設中に出るゴミの縮減を兼ねて、自然素材である大鋸屑を使用している。

こう思い返すと、そのひとつひとつは、特別なことではなく、なつかしさを感じたり、至極当然に思うことばかりである。ただむしろ、この当たり前であることへの徹底が現代においてはどんなに難しいことか。だからこそ、評価に繋がったように思う。

(中川 エリカ)

事業主 村川辰己
設計者 すまい塾古川設計室有限会社
施工者 榊工務店
所在地 熊本市西区
竣工年月 令和3年(2021年)1月
用途 一戸建の住宅
構造 木造
階数 地上1階建
敷地面積 297.16㎡
建築面積 97.23㎡
延べ面積 82.46㎡





形としては、地面にグレーの小箱を置き、その上に木の箱をかなり前に迫り出して乗せたよう。迫り出した部分の軒高はぎりぎりまで抑えられているので、1階は単なる基壇であって、内には物置程度の部屋しかないように見える。しかしこうした外観は、内部空間の構成をそのまま表現したものではなく、そのようなものとして見せるために努力された結果である。つまりこの建物の外観は、旧三菱引込線に沿ったその小さな角地に、どのような形で建物が建つのが良いのかという観点から設計され、またその結果として、周辺環境のなかである種の際立ち

と謙虚さを兼ね合わせた建ち方として立ち現れている。
内部空間は、そうした外観を良い意味で裏切って、豊かである。迫り出した部分の2階にこの住宅の中心的存在である居間があり、その床を隣接するDKより下げ、また天井を3階の床より上げることで、天井高を高くしている。生じた2階と3階の段差は、空間の「伸び」をつくりだしている。また、その段差の境に階段を設け、それによって生まれる吹き抜けを通して、上から自然光を導いているのも良い。居間の上に設けられた屋根付きのテラスは、窓にガラスの入って

いない部屋のように、発明とも言えない。コンパクトな住宅ならではの密度の高い設計である。
(青木 淳)



事業主 長野靖子
設計者 株式会社長野聖二建築設計處
施工者 有限会社ウエダホーム
所在地 熊本市中央区
竣工年月 平成29年(2017年)12月
用途 一戸建の住宅
構造 鉄骨造
階数 地上3階建
敷地面積 59.10㎡
建築面積 41.20㎡
延べ面積 91.81㎡



写真 / 小川重雄

神水公衆浴場は、2016年熊本地震により被災したオーナーによる自宅再建のプロジェクトである。震災後に「地域のみなさんがお風呂で苦労していた」ことを知る経験から自宅の風呂を開放するというアイデアが生まれ、公衆浴場という体裁を整えたというユニークさと実行力に驚かされる。
また、構造設計者であるオーナーは本プロジェクトの構造設計を行うだけでなく、自らが元請けとなって分離発注を行いながら工事費を圧縮し、被災後の資材高騰を乗り切ったようだ。こうして建築設計の専門性を大いにいかしながら生ま

れた空間は、美しく丁寧に組まれた木造の架構が小さな浴場に感覚的な広がりを与え、ちょっとした非日常の楽しみを演出している。
また、道路に面する土間は開放感があり地域住民にとって憩いの場になっているようだ。こうして地域住民の拠り所となる場所をちりばめておくプロジェクトは、行政による防災対策を積極的に補う事前復興の一端を担うものとしても意図されており、設計のみならず企画、運営までを含めた優れたデザインであると評価した。
(乾 久美子)

事業主 株式会社黒岩構造設計事務所
設計者 株式会社ワークヴィジョンズ
株式会社黒岩構造設計事務所
竹味佑人建築設計室
施工者 株式会社住管理システム
たねもしかけも
株式会社ツカモトコウムデン
所在地 熊本市中央区
竣工年月 令和2年(2020年)6月
用途 公衆浴場併用住宅
構造 木造
階数 地上2階建

敷地面積 135.57㎡
建築面積 107.02㎡
延べ面積 193.96㎡





写真 / Yousuke Harigane

建っているのは、比較的ゆるやかな高低差がある場所で、周囲の敷地に建つのも、ほぼ同時期に建設されたと思われる新築の同じようなヴォリュームの平屋あるいは2階建てである。

50代夫婦の住む住宅である。5つの独立したベタ基礎が立ち上がり、島のようにつくられた基礎どうしの隙間に敷地の地面がそのまま残る。そこにはどこにもある雑草が生え、風や小動物が通るといふ。高低差のあるこの地域の地形が、基礎を立ち上げる、この地域の住宅の特徴を生んでいる。この住宅もそうで、外壁こそ肌色で明るい、地域に溶け込ん

でいる。客間にしろ、リビングにしろ、ダイニングにしろ、一つとして平行な壁はない。寝室以外には部屋を取り囲む壁があるという印象もない。一方、床も玄関から廊下で導かれる客間やリビングは低く土間に近い。廊下よりも一段高くそこに腰掛けられる「三角縁側」の下は、その「縁側」の角に頭をぶつけないように下に体を滑り込ませれば、そこは正に土間で、廊下の土間床との間の立ち上がり部に設けられた窓は基礎と基礎の間の隙間に通じる。ダイニングのガラスのテーブルの下にも隙間の地面が見える。高低差と平

行でない壁、そして地面に近いことがつく室内には落ち着きや楽しみをもたらす思わぬ居場所がある。それを探す楽しみもある。

(伊東 龍一)



事業主 下田健一郎、下田洋子
 設計者 FUMI EGAMI ARCHITECTS
 施工者 有限会社ウエダホーム
 所在地 熊本市北区
 竣工年月 令和4年(2022年)5月
 用途 一戸建の住宅
 構造 木造
 階数 地上2階建
 敷地面積 207.50㎡
 建築面積 73.11㎡
 延べ面積 78.98㎡



ケアポート益城は2016年の熊本震災により被災した介護老人保健施設の再建計画である。震災ではRC4階建の本体だけでなく擁壁も崩壊したことから、既存の地盤面を切り下げ、過去に地形に近い形に戻しつつ、隣地との取り合い部分は法面処理としている。それにより、敷地だけでなく周囲の住宅街の安全性を高めるような計画となっている。

また、敷地が複数の地盤レベルをもつことから、再建後の1階の一部を土の中に埋め、個室の並ぶ2階を避難階としている。

この断面計画は、老人保健施設として安心・安心を感じさせる構成であると共に、外へと直接つながる開口部が各フロアにもあることは、室内から周辺への連続感を感じさせ、落ち着きのある居住環境をつくりだすことにも寄与している。

また、通所エリア、居住エリアというゾーニングや、コロナ禍における面会対応にも多に役立っているようだ。地盤面の見直しをきっかけに、地域に開かれた福祉施設のあり方を自然に体現しているプロジェクトとして評価した。

(乾 久美子)



事業主 社会福祉法人慈光会
 設計者 株式会社ばん設計小材事務所
 施工者 株式会社岩永組
 所在地 上益城郡益城町
 竣工年月 令和2年(2020年)4月
 用途 介護老人保健施設
 構造 鉄筋コンクリート造
 階数 地上2階建
 敷地面積 11,142.36㎡
 建築面積 2,919.90㎡
 延べ面積 4,159.27㎡



推進賞
上乃裏通りのビルディング+

プラス



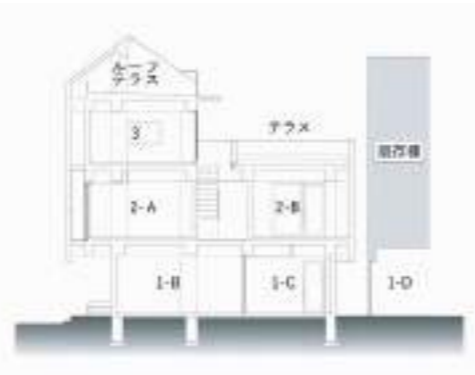
熊本市中心市街地にありながら、商業ビルと住宅地が混在する地域、上乃裏通りにある。敷地は路地に面する角地で、西側の路地を挟んでの向いは寺である。1階周囲に余地をつくって隣地との境は路地になる。奥へ行ける。この計画では東隣のビル1階の改修も行って、新たにできた路地によって、この店舗にアプローチできるようになった。敷地をこえた計画が良い。

3階建の外壁はコンクリート打ち放しであるが、内側にも内部空間の外壁があり、二重壁を成す。外側の外壁にはところどころ穴が開いており、二重壁の間に

は上部へ抜ける吹き抜けがあつて、上からは自然光が階段に落ち、夜は反対に下階の光が上階に漏れて、路地や階段を演出して2階、3階への人を引き込み、奥へ誘う。

設計は、施主が描いた建物の断片的なスケッチをからスタートしたという。審査に当たった建築家は次のように評された。施主のスケッチを精一杯活かそうとした。そのため設計者が最初から設計したのでは出てこない、合理性からは外れた部分があつた。それがよい。なるほどと思う。間違いない。建物奥の路地にも屋上にも夕方の寺の鐘がとどく。

(伊東 龍一)



事業主 黒土啓啓
設計者 株式会社志垣デザイン店
施工者 有限会社川崎木工
所在地 熊本市中央区
竣工年月 令和4年(2022年)1月
用途 テナントビル
構造 鉄筋コンクリート造
階数 地上3階建
敷地面積 158.90㎡
建築面積 117.11㎡
延べ面積 239.72㎡

推進賞
線景の家



写真 / 千葉 顕弥

熊本では親世代の家の敷地に子世代の家を建てるケースが多く、毎年のように、そうしたプロジェクトに出会う。

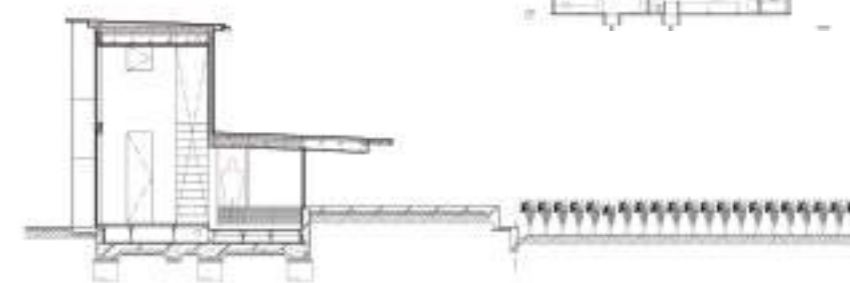
このプロジェクトは、子世代の家を親世代の家の南面にあった庭に建てるもので、親世代の家の日照に配慮してか、子世代の家は庭の西側に寄せて薄っぺらく建てられている。上から見れば、鍵折れの配置である。この子世代の家すなわち「線景の家」が特徴的なのは、西に広がる田圃とそこを斜めに突っ切る九州新幹線の高架への過大と言つていいほどの反応である。板状の2層のブロックに対して、西に下屋が付加されているのだが、

その下屋はほとんど、西の景をどう切り取って見るか、という視点からのみで設計されているのである。

それは、ピクチャーウィンドウが設けられているというのではなく、そのピクチャーウィンドウのなかで生活する、と言つても良いレベルである。天井から軒へとつながる上面の高さと勾配、床の高さの変化、それらが総動員されて、田圃のグリッドと斜行する高架の線がその空間において交錯する。新幹線の高架は半永久的な存在であるし、目の前に広がる田圃も、農業振興地域に指定されているのでこのまま残るだろう。

そうであるからこそ、そうした風景を取り込んだカメラのレンズそのものとして住宅を設計するという極端な方法が可能であり、またそこに新たな住まい方の可能性が見出せると考える。

(青木 淳)



事業主 吉野雄大、吉野紗織
設計者 株式会社アーキペラゴアーキテツスタジオ
施工者 有限会社ウエダホーム
所在地 八代市
竣工年月 令和4年(2022年)8月
用途 店舗併用住宅
構造 木造一部鉄骨造
階数 地上2階建
敷地面積 443.90㎡
建築面積 89.69㎡
延べ面積 118.53㎡



音楽室を講場(右写真)に改修 写真 / 内藤建築事務所提供



写真 / 2021 Aioli Pro Photo

2017年3月に閉校した県立南関高校の校舎を改修し、南関町の新たな庁舎にしたプロジェクトである。

南関町の旧庁舎は鉄筋コンクリート2階建てで、1966年に建てられた。しかし老朽化が進み、耐震診断の結果、改修による補強が不可能であることが判明。町が庁舎の建て替えを検討する中、町中心部にある南関高校の校舎(鉄筋コンクリート3階建て)の活用案が浮上し、2018年に熊本県から敷地と校舎の無償譲渡を受けた。

閉校後の校舎を役場庁舎に再利用する取り組みは全国でも珍しい。県立高校の校舎を役場庁舎として再利用するのは、

熊本県内では初めてだった。

校舎は2棟を改修したが、その特徴は「そのまま最大限活用している」ことだ。教室を隔てた壁を残して各教室を執務室とし、こぢんまりとした空間に各課が収められている。床は昔のまま、壁や黒板をそのままにした部屋もある。往時の学校の雰囲気や幾分残している。以前より大きく変わったのは、旧音楽室の講場だろうか。

この2棟を、新設した木造2階建て庁舎でコの字型をつないだ。この庁舎が正面を向いており、建物全体の「顔」となっている。

「最大限の活用」は、「限られた町の予算で何ができるか」との考えから導き出さ

れたのだろう。工事費は15億4千万円。全て新たに造るより支出を抑えられたに違いない。

人口縮小社会と財政の緊縮化が一層進むことが予想される中、自治体にとって公共施設の存廃は大きな課題だ。新設となれば二の足を踏むことも少なくない。

今回のプロジェクトは、それを見据えた、自治体の身の丈に合った施設整備とも言える。他自治体の参考になり得るのではないだろうか。町保健センターを庁舎に同居させ、敷地内には消防署などの防災施設も集約した。公共施設の在り方を考えるきっかけになることを期待したい。

(藤本 英行)



事業主 南関町
 設計者 株式会社内藤建築事務所
 施工者 東急・興亜特定建設工事共同企業体
 所在地 玉名郡南関町
 竣工年月 令和3年(2021年)12月
 用途 庁舎
 構造 増築:木造一部鉄骨 既存:鉄筋コンクリート造
 階数 地上3階建(増築部2階建)
 敷地面積 17,505.84㎡
 建築面積 3,389.50㎡(内増築1,016.22㎡)
 延べ面積 6,303.85㎡(内増築1,406.38㎡)



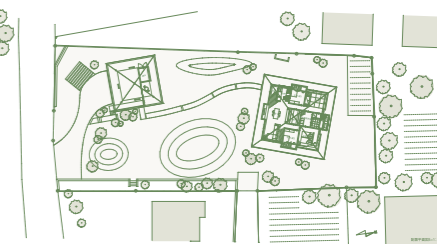
写真 / 田中 克昌

地方都市らしい、低密度でおおらかな風景の中に建つ住宅。海と山を繋ぐなだらかな地形の傾斜をそのまま援用した広い芝生の中に、2棟の建物を離して建てる。一棟は四阿、もう一棟は母屋で、2棟は並行ではなく、軸がふれて並んでいる。この、離れていることと、軸がふれていることの2点が、低密度で一見脈絡がない近隣風景の法則を敷地内にも取り込むための方法であり、建物だけが風景を作っているわけではない環境の中で新しく建物をつくる時の作法であるように感じられて、好感を持った。

四阿と母屋はどちらも方形で、サイズ

は違うものの、似た佇まいをもつ。審査員一同で議論をする中で、方形という人工的なかたちが、先に述べた風景と対応した配置計画の良さと少し張り合ってしまったような印象を受けたこと。母屋の内部に身を置いたときに、外部空間の伸びやかさとは印象が変わり、個別の部屋の体験になってしまっていること。この2点が、評価を分けたポイントだったように思う。

(中川 エリカ)



事業主 匿名(個人)
 設計者 class archi 株式会社
 施工者 村田建築
 所在地 玉名郡岱明町
 竣工年月 令和3年(2021年)7月
 用途 一戸建の住宅
 構造 木造
 階数 地上1階建
 敷地面積 1,017.96㎡
 建築面積 174.06㎡
 延べ面積 145.76㎡





写真 / (有)マツセ写真館

ハンセン病の療養所である国立療養所菊池恵風園の中にある保育施設。木立の中にあり、ステンレスの外壁には木々の緑と青空が映り込む。

入所者と子どもたちの交流をしやすいするため、建物の開口部は広く、さらに園庭も緑の森へ向かって開かれている。2022年現在は新型コロナウイルスの影響によりなかなか交流もかなわない期間が続いているが、以前は季節の行事ごとに子どもたちが入所者の病床へ出向いたり、こども園の中でも過ごすシーンも多かったとのこと、車椅子でも移動しやすいようエン

トランスから建物中央のホールまではスロープが設置されている。

建物の内部には壁が少なく開放感がある。2歳児から5歳児までがともに生活をする保育室は特に広々とした空間でのびのびと過ごすことができ、オーロラのようなやわらかな色と曲線を持つ天井がやさしく包んでいる。また、壁が少ないことで、さまざまな角度から子どもたちに目が届くような造りにもなっている。園庭には、木登りをしたり、手作りのブランコで元気いっぱい遊ぶ子どもたちの楽しそうな声が響いていた。

一方で、この建物の建設後に熊本電鉄・御代志駅が園のすぐ隣に移転したことで環境が変化してしまった。当初は四方を緑に囲まれていたが、一部の樹木が伐採された上、通行も増え人目も気になるようになってしまったようで、広く開いていた駅側の窓のいくつかを目隠しをせざるを得ない状態となっていた。

(坂口 美由紀)



事業主 社会福祉法人佳徳会
 設計者 ユニ建築設計有限会社
 施工者 株式会社小竹組
 所在地 合志市
 竣工年月 平成29年(2017年)8月
 用途 保育所
 構造 鉄骨造
 階数 地上1階建
 敷地面積 5,303.99㎡
 建築面積 1,042.22㎡
 延べ面積 970.06㎡

くまもとアートポリス推進賞 熊本市内中心部マップ



- | 第1回 | 1995年度 | 第12回 | 2006年度 | 第19回 | 2013年度 |
|----------------------|--------|-------------------------|--------|-----------------------|--------|
| 4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所 | | 99 "B"-studio | | 11 大江の舎/親誼書房 | |
| 7 出田眼科病院 | | 10 永田歯科 | | 2 丁邸 | |
| 第2回 | 1996年度 | 第13回 | 2007年度 | 12 坪井の家 | 2014年度 |
| 9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム | | 12 熊本学園大学14号館(60周年記念会館) | | 21 沼山津の家 | |
| 第4回 | 1998年度 | 13 城下町の住宅 | | 22 House F, nagamine | |
| 22 古閑邸 | | 16 AI mall | | 13 熊本市西区役所 | |
| 23 聖母の丘 | | 17 コンバスポイント本社ビル | | 第21回 | 2015年度 |
| 第5回 | 1999年度 | 第14回 | 2008年度 | 13 京町の家 | |
| 29 シルフ・エッセ | | 19 B-house in 島崎 | | 18 33' 46' 48" | |
| 30 宮崎耳鼻科 | | 21 Chro-e#01(クローイー#01) | | 41 第一幼稚園 | |
| 31 矢野邸 | | 22 ガーデンコートゆうかり | | 第22回 | 2017年度 |
| 第6回 | 2000年度 | 25 済生会熊本病院外来がん治療センター | | 14 熊本県民テレビ新社屋 | |
| 35 ネクステージビル | | 第15回 | 2009年度 | 第23回 | 2018年度 |
| 37 セカンドサイト | | 28 川上酒店 | | 14 錦ヶ丘の家 | |
| 第7回 | 2001年度 | 29 i-CUBE#01(アイキューブ#01) | | 15 川尻の町家 | |
| 40 K.Residence | | 31 桜木の家 | | 12 MU-HOUSE | |
| 42 裨田の舎 | | 24 熊本市下通2・3・4番街アーケード | | 第24回 | 2019年度 |
| 45 キューネット社員寮「希翔館」 | | 第16回 | 2010年度 | 15 Y-HOUSE | |
| 第8回 | 2002年度 | 25 道と暮らす家 | | 16 オモケンパーク | |
| 46 久野邸 | | 27 C-HOUSE | | 16 いたた平成眼科クリニック | |
| 47 立田山野外保育センター「雑草の森」 | | 第17回 | 2011年度 | 第25回 | 2021年度 |
| 49 いのうえデンタルクリニック | | 10 熊本市医師会館・看護専門学校 | | 16 下江津の家 | |
| 第9回 | 2003年度 | 11 宮原邸 | | 第26回 | 2022年度 |
| 51 熊本保健科学大学 | | 11 I-apartment | | 17 村川造園自宅 | |
| 53 熊本市現代美術館 | | 19 Shipな家 | | 17 N-HOUSE | |
| 54 UEDA.Residence | | 第18回 | 2012年度 | 17 器季家カフェ | |
| 第10回 | 2004年度 | 11 行徳眼科 | | 18 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷 | |
| 57 田迎の家 | | 15 器季家カフェ | | 17 神水公衆浴場 | |
| 58 東海大学付属第二高等学校 | | 16 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷 | | 18 上乃裏通りのビルディング+ | |
| 第11回 | 2005年度 | 16 ユウハウス | | | |
| 60 k-house in 近見 | | | | | |

くまもとアートポリス推進賞 県内マップ

● 推進賞 ○ 推進賞選賞 ※の施設は熊本市内中心部マップ (P12)

第1回 1995年度

- 1 小国町立西里小学校
- 2 東陽村石匠館
- 3 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- 4 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所*
- 5 清和物産館(四季のふるさと)
- 6 荒瀬ダムポートハウス
- 7 出田眼科病院*
- 8 尚玄山荘

第2回 1996年度

- 9 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム*
- 10 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- 11 ふるさとセンターY・BOX

第3回 1997年度

- 12 久連子古代の里
- 13 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- 14 水俣市営洗切団地
- 15 丸尾焼工房
- 16 人吉の写II / 平井邸
- 17 浮島周辺水辺公園

第4回 1998年度

- 18 老人保健施設 かがみ苑
- 19 熊本県信用保証協会八代支所
- 20 HOUSE:H-M
- 21 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- 22 古閑邸*
- 23 聖母の丘*
- 24 宮原町下宮はまどん公園

第5回 1999年度

- 25 水上村立湯山小学校
- 26 中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐俣の湯」
- 27 植柳新町公民館(地域学習センター)
- 28 シルワ・エッセ*
- 29 50M-標の森美術館
- 30 宮崎耳鼻科*
- 31 矢野邸*

第6回 2000年度

- 32 やつしろハーモニーホール
- 33 城南の舎
- 34 中央町福祉保健センター「湯の香苑」
- 35 ネクステーションビル*
- 36 熊本YMCA 阿蘇キャンプメインホール
- 37 セカンドサイト*
- 38 霧の斎場

第7回 2001年度

- 39 荏原九州
- 40 K.Residence*
- 41 つなぎ美術館
- 42 稗田の舎*
- 43 ガレリアのある舎
- 44 chase
- 45 キューネット社員寮「希翔館」*

第8回 2002年度

- 46 久野邸*
- 47 立山山野外保育センター「雑草の森」*
- 48 八代の町屋
- 49 いのうえデンタルクリニック*
- 50 大野温泉センター

第9回 2003年度

- 51 熊本保健科学大学*
- 52 I-HOUSE
- 53 熊本市現代美術館*
- 54 UEDA, Residence*

第10回 2004年度

- 55 九州新幹線 新水俣駅
- 56 S.W.H
- 57 田迎の家*
- 58 東海大学付属第二高等学校*
- 59 ひだまりのまち B4

第11回 2005年度

- 60 k-house in 近見*
- 61 高瀬蔵

第12回 2006年度

- 62 3 Towers
- 63 美里町立中央小学校体育館
- 64 玉名温泉つかさの湯
- 65 堀田眼科医院
- 66 阿蘇の舎
- 67 nina Dental Clinic
- 68 西の久保公園
- 69 "B"-studio*
- 70 永田歯科*

第13回 2007年度

- 71 H-court
- 72 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)*
- 73 城下町の住宅*
- 74 多良木町交流館石倉
- 75 グリーン・ツイードアンドカンパニーアジアエンジニアリングセンター
- 76 Al mall*
- 77 コンパスポイント本社ビル*

第14回 2008年度

- 78 障害者多機能型施設 高森寮
- 79 B-house in 島崎*
- 80 ジャングルジムの家
- 81 Chro-e#01(クローイー#01)*
- 82 ガーデンコートゆうかり*
- 83 松木運輸株式会社
- 84 しらさぎおさや
- 85 済生会熊本病院外来がん治療センター*
- 86 barn renovation

第15回 2009年度

- 87 畑の中の一軒家
- 88 川上酒店*
- 89 i-CUBE#01(アイキューブ#01)*
- 90 光の森の住宅
- 91 桜木の家*
- 92 R-House in 梶尾
- 93 YMCA赤水保育園
- 94 熊本市下通2・3・4番街アーケード*

第16回 2010年度

- 95 道と暮らす家*
- 96 天草文化交流館
- 97 C-HOUSE*
- 98 熊本市立佐敷小学校
- 99 百年遺伝子の門
- 100 T-house in 高森

第17回 2011年度

- 101 熊本市医師会館・看護専門学校*
- 102 高瀬
- 103 宮原邸*
- 104 嘉島の家
- 105 田園住宅(篠崎邸)
- 106 I-apartment*
- 107 松の湯
- 108 矢部の家
- 109 Shipな家*

第18回 2012年度

- 110 行徳眼科*
- 111 八代の家
- 112 護岸の家
- 113 器季家カフェ*
- 114 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
- 115 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷*
- 116 ユウハウス*
- 117 House-Sim
- 118 土5' SEPPAN BOX

第19回 2013年度

- 119 大江の舎 / 親誼書房*
- 120 T邸*
- 121 風と共に
- 122 中九州クボタ本社・物流センター
- 123 南阿蘇原眼科
- 124 光影Archive / 長洲の家
- 125 坪井の家*
- 126 渡邊総合内科クリニック / 高森わたなべ薬局

第20回 2014年度

- 127 沼山津の家*
- 128 House F, nagamine*
- 129 湯涌温泉センター
- 130 MA-HOUSE
- 131 供養普請の家(佐藤忠商店)
- 132 古代の風 黒の蔵-多良木町埋蔵文化財等センター-
- 133 熊本市西区役所*
- 134 旅館 心乃間間

第21回 2015年度

- 135 Lee子どもクリニック
- 136 千丁の家
- 137 京町の家*
- 138 T.house in 武蔵塚
- 139 33° 46' 48"*
- 140 玉東町の家
- 141 第一幼稚園*
- 142 南阿蘇の小さな診療所
- 143 薬味筆筒の家

第22回 2017年度

- 144 わかたけ保育園
- 145 再春館製薬所体育館サクラリーナ
- 146 SA-HOUSE
- 147 GALLERY FLOWER GARDEN
- 148 熊本県民テレビ新社屋*

第23回 2018年度

- 149 錦ヶ丘の家*
- 150 合志マンガミュージアム
- 151 川尻の町家*
- 152 MU-HOUSE*
- 153 尚綱大学短期大学部附属子ども園
- 154 園田教材社
- 155 町営住宅倉原団地

第24回 2019年度

- 156 川尻公会堂
- 157 Y-HOUSE*
- 158 地獄温泉青風荘,すずめの湯
- 159 地の舎
- 160 南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地
- 161 オモケンパーク*
- 162 西原村買取型災害公営住宅山西団地
- 163 にしきひみつ基地ミュージアム(錦町立吉海軍航空基地資料館)
- 164 滝尾幼稚園
- 165 いでた平成眼科クリニック*

第25回 2021年度

- 166 下江津の家*
- 167 そらいろ保育園
- 168 PLAY FARM・ツリーハウス
- 169 HIKE(ハイク)
- 170 八代市民俗伝統芸能伝承館(お祭りてんでん館)
- 171 益城町の事務所
- 172 切妻と土間の家
- 173 松橋の家
- 174 南阿蘇村買取型災害公営住宅 長陽西部団地・下西原第2団地
- 175 地獄温泉 清風荘

第26回 2022年度

- 176 村川造園自宅*
- 177 N-HOUSE*
- 178 神水公衆浴場*
- 179 床と大地の余地
- 180 ケアポート益城
- 181 上乃裏通りのビルディング+*
- 182 線景の家
- 183 南関町庁舎
- 184 岱明の家
- 185 かえての森こども園

